

1. 自己PRをするために必要な言語技術

今日の授業のポイント

1. よい自己紹介のための注意点に気づく。
2. 自己紹介のための表現を学ぶ。

1-1. いい自己PRとは？

- 1) 相手が期待する情報を十分に提供する
- 2) 相手の心に残る

1-2. 自己紹介をするための注意点

- 1) 時間の使い方
 - ・ 紹介内容が短すぎたり長すぎたりしてはいけない。

- 2) 文体
 - ・ 文体は「丁寧体／ですます体」を使う。

- 3) 構成
 - ・ 選んだテーマについての十分な説明を言い換えや例を言いながら行う。

例) さて、みなさんの中にはペットを飼っている人もいますが、私もペットを飼っています。でも、私のはちょっと変わったペットです。それは蚕（かいこ）です。かいこは大人になると絹、つまりシルク silk を作ります。かいこは今50匹くらいいます。

- 4) 話し方

①大切なことばは、はっきり、ゆっくり、くりかえして言う。

例) 「私の名前は、キム ミソン、キム ミソン と 申します。」

②相手が知らない言葉を使う場合は簡単な言葉に言い換えたり、例をあげたりする。

例) 「私の趣味はテコンドー、韓国の武道で日本の空手のようなスポーツです。

1-3. 自己紹介のための表現

1) 話し始め

・ 皆さん、はじめまして。韓国のソウルからまいりましたキムと申します。

2) 本論の途中で例をあげる

・ たとえば～、つまり～

3) 終わり (よい友達になりたいと話す)

・ どうぞよろしくお願いします。
・ いろいろ分からないこともあるかと思います。その時は相談にのってください。
・ 以上です。

4) 相手に質問する

①わからなかったことを質問する

・ ～って何ですか。・たとえば?・どうして～?

②確認をする

・ ～は～何ですか。
例) 出身はニューヨークなんですか。
・ ○○は、△△ということでしょうか。
例) 来日は去年の8月ということでしょうか。
・ ～は～でしたっけ。
例) ペットは蚕 (かいこ) でしたっけ。

1-4. 他者紹介のための表現

1) 話しはじめ

<友達の場合：例>

皆さん、こちらはリーさんです。出身はシャンハイです。シャンハイには18歳まで住んでいたそうです。趣味はサッカーでサークルにはいっているそうです。

<先生の場合：例>

皆さん、こちらは田中先生です。ご出身は京都です。京都には18歳まで住んでいらしたそうです。趣味はサッカーでサークルにはいっていらっしゃるそうです。

2) 終わり方

<友達の場合：例>

以上でリーさんの紹介を終わります。

<先生の場合：例>

以上で田中先生のご紹介を終わります。

<練習 1>

自己PR シートを使って自分の好きなことをメモします。空白の欄は自分でテーマを決めて書きます。その後で、自分の紹介に使用したいテーマを3つメモします。この時、キーワードのみ書きましょう。

<練習 2>

ペアになってお互いに3分ずつ自己紹介をしましょう。自己紹介が終わったら、わからなかったことや確認したいことを「1-3の4)相手に質問する」の表現を使って質問しましょう。

＜^{れんしゅう}練習 3＞

クラスの**まえ**でペアごとに自分のパートナーを**しょうかい**しましょう。

＜練習 4＞

しょうかい お　ひと　なまえ　い　なまえ　おぼ
紹介が終わったペアから紹介されたクラスの名前を言ってクラスメートの名前を覚えましょう。

＜^{じこ}自己PR シート＞

じこしょうかい
自己紹介

しゅみ
趣味

スポーツ

えいが
映画

た もの
食 べ 物

好きな人のタイプ。

ほん
本

いろ
色

しょうらい
将来

うた
歌

どうぶつ
動物

りょう
旅行

2. 意見スピーチ

今日の授業のポイント

1. 意見スピーチとはどのようなものかを知る。
2. 意見スピーチの上手なやり方を学び、実際に行う。

2-1. よい意見スピーチとは？

- 1) 自分の考えを聞き手が納得するように伝える。
- 2) 意見が聞いている人の心に残るようにオリジナリティー（自分の経験、本や聞いた話などの例）を入れる

2-2. 意見スピーチの構成

「序論」、「本論」、「結論」の3部構成を基本とするが、方法は各自工夫する。聞く人を飽きさせないために、驚きや、発見の場面を入れる。

2-3. 意見スピーチの準備

- 1) テーマを決める：一番言いたいことをはっきりさせる。
- 2) 発表のアウトラインを組み立てる：簡単なものから細かいものへと詳しくする。
- 3) 1分で350字ぐらい

アウトラインの例^{れい}

アウトラインはおおざっぱなストーリーから作り始めて、だんだん内容を細かくしていく

各章の内容をもう少し細かく箇条書きにしていく



序論

1. はじめに

本論

2. 夢を叶えた人の例^{ゆめ かな ひと れい}

3. 夢の実現方法^{ゆめ じつげんほうほう}

1. はじめに

- (1) 夢を叶えるとは^{ゆめ かな}
- (2) 夢の叶え方について^{ゆめ かな かた}

2. 夢を叶えた人の例^{ゆめ かな ひと れい}

- (1) オバマ大統領の例^{だいとうりょう れい}
- (2) 自分の過去の経験^{じぶん か こ けいけん}

3. 夢の実現方法^{ゆめ じつげんほうほう}

- (1) 行動する^{こうどう}
- (2) すぐ開始する^{かいし}

4. おわりに

- (1) 努力とやる気の大切さ^{どりよく き たいせつ}
- (2) すばらしい未来が待っている^{みらい ま}

2-4. スピーチ例

発表テーマ (タイトル) 夢を叶えましょう (スピーチコンテスト優勝者のスピーチ原稿)

夢を叶えましょう 「夢を叶えましょう」というこのフレーズ、皆さんは耳慣れているでしょう。確かに立派な言葉ですが、実際は夢を諦めてしまっている人が多いと私は思います。そこで、本日は私が自分なりに理解した夢の実現について皆さんと一緒に考えてみようと思います。

まず、夢を叶えるには、大きな条件があると考えました。それは自分が何をしたいのかを見つけることです。例をとってみましょう。今とても有名なあの、そう、オバマさんです。

学生時代のオバマさんは自分が黒人であるため、身分を卑屈に感じたそうです。そのせいで、学校をサボるにとどまらず、いつも酒に酔い、麻薬を吸ったことさえあります。しかし、彼は自分であることを放棄しませんでした。オバマさんは自分が一生懸命努力することによって、他人が自分に対する偏見を変えようと決心しました。その夢に向かって、何度失敗しようと何回も何回も努力しました。結果、一步一步、彼の人生が変わっていきました。麻薬をやめ、成績も普通だったものが優等生にもなりました。最終的に、普通のひとからアメリカの初の黒人大統領になりました。大きな夢をみて、諦めずに育てていくことで、オバマさんの夢が実現していることがわかります。

さて、私の経験に話を移したいと思います。子供の頃から、私は話すことがとても苦手でした。そして、大勢の人の前に立つと、汗もだらだら出たり、みんながきくと私をじっと見ていると考えて、怖くて、怖くて、ぶるぶる震えたりしたものです。しかし、このままではダメだと思い、自分を変えようと思いました。そして、一つの夢を描きました。それは、大勢の前でぺらぺらと話すことです。そして、それは今日ここに実現しました。私にとってこれは奇跡以外の何ものでもありません。

Nothing is impossible. Never give up on your dreams !

では、夢を見つけたら何をしたらいいでしょうか。私ならすぐに行動してみます。行動は言葉に勝つのです。夢を見たら、ためらわないで、おそれないで、すぐにやり始めてみませんか。行動することで成功する可能性も生まれますし、結果にかかわらず自信を強めることもできます。逆に、夢がたくさんあっても行動を全然しないと、いつまでも妄想でしかありません。

私は賢い学生ではありません。しかし、一生懸命頑張らなければならないということがよくわかります。私の場合、勉強で同じ内容を習得するのに他の人の2倍も3倍も多くの時間を費やします。しかし、自信はあります。全力を出しきって、もっともっとやる気を高めていけば他の誰にも負けない可能性だってあるのですから。

みなさん、今日の社会を生き抜くことは大変です。明日はもっと大変になるかもしれません。明後日はもっと、もっと、も一つと大変なことになるかもしれません。だけれども、明々後日はきっと素晴らしい日がまっています。諦めず、素晴らしい日々にしようじゃないですか。

Nothing is impossible, Never give up on your dreams !

ご静聴ありがとうございました。

2-5. 意見スピーチの評価

今日の授業のポイント

1. 発表の前にどんな点をチェックするかを知る。
2. 発表をする前に、気をつけなければならないことを知る。

1) チェックシート（発表の前に）

チェックするポイント		自分
準備段階	①テーマが明確である	
	②自分の経験が入っている	
	③自分の意見・主張がある	
	④時間を計って練習した	
	⑤（ ）回練習した	

2) 発表の評価

チェックするポイント			教師
内容	まとめ方	①テーマをしばりこんであるか	
	独創性	②オリジナリティー／自分なりの工夫(くふう)があるか	
	面白さ	③自分の意見・主張があるか	
構成		④序論、本論、結論があるか	
言語面	正確さ	⑤文法は正確か	
		⑥語彙の選択は適切(てきせつ)か	

		⑦です・ます体で話せたか	
	発表の 表現	⑧原稿を読まずに、みんなの方を向いて発表できたか	
		⑨発音・アクセント・イントネーション	
非言語面	態度	⑩声の大きさは適切だったか	
	発音	⑪時間を守ることができたか	
		⑫話す速さは適切だったか	
印象		⑬聞き手の心に残るか	

3) 聞き手が行う評価

総合評価 : S (100-95%) A (94-80%) B (79-70%) C (69-60%) E (59%以下)

評価するポイント	S : 10	A : 8	B : 6	C : 4
プレゼンテーションの内容 (独創性、おもしろさ など)	S	A	B	C
発表態度 (声の大きさ、発音、流暢 さなど)	S	A	B	C
ごうけい 合計	/20			

3. レジューメ（ハンドアウト）の作り方

今日の授業のポイント

1. 見やすいレジューメ、わかりやすいレジューメとはどのようなものかを知る
2. レジューメの作り方を学び、実際に作成する

3-1. レジューメとは？

プレゼンテーション（口頭発表）の際に、聞き手に配布する資料

発表の内容を簡潔にまとめたもの・要約したもの

3-2. レジューメ作成の手順

1) 文章を読む

まず、以下の文章「学校のはじまり」を読んでください。内容ごとにいくつに分けられるか考えながら読んでみましょう。重要だと思ったところには線をひきましょう。

「学校のはじまり」

①日本は明治維新によって大きく変わりました。それまでは、主として武士だけがよい教育を受け、政治をおこなってきました。しかし、明治政府は新しい立派な国を作るためには、すべての国民にしっかりした教育を受けさせなければならないと考えました。

②そこで、明治5年に学校の制度を定めて、新しい教育を始めました。この制度は、全国に8つの大学、256の中学、53,760の小学校をつくるという、大きな計画でした。それまでのような差別教育はなくなり、誰でも教育が受けられるようになりました。学制の出された翌年には、男子の46%、女子の17%くらいの人々が、小学校で学ぶようになったということです。

③しかし、はじめのうちは、先生が足りなくて困ったようです。教え方も前の時代とあまり変わりませんでした。そこで、先生を養成する学校がつけられました。こうして、学校制度は次第に整って

いきました。明治40年ごろには、95%以上の子供が小学校へ通うようになりました。

4このような国がつくった学校に対して、福沢諭吉、津田梅子などは、それぞれ独特の校風を持った私立学校をつくり、自分の経験を生かした教育を行いました。

5福沢は若いころアメリカへ行き、西洋の合理的な思想に心をひかれました。そして、封建的な思想に反対し、西洋の思想を日本に広めようと考え、慶応4年（1868年・明治元年）に慶応義塾をつくりました。ここでは、国立の学校とちがって、自由な空気を重んじ、新しい時代にふさわしい人間を育てる教育が行われました。慶応義塾からは、実業家や政治家など、有名な人が出ています。

6津田梅子は、6才でアメリカに留学し、帰国してからずっと女子教育をおこなった人です。梅子の父は農学者で、すすんだ考えの人でした。かれは、日本に文明をもたらすのは、教育のある女性だと考えていました。そういう女性をつくるためには、子どものころに欧米に送って教育しなければならないと思い、まだ6才の自分の娘を外国に行かせる決心をしたのです。梅子は、アメリカ人の家庭で、アメリカ人と同じ生活をしながら、アメリカのことば・風俗・習慣・ものの見方などを身につけて、11年後の明治15年に帰国しました。帰国後、女学校で英語を教えました。しとやかで従順なだけの女性を求めている日本の社会に満足できませんでした。そこで、明治22年に、再びアメリカに留学して、大学で生物学を学んで帰国したのち、明治33年に、私立の津田女子英学塾をつくりました。

7福沢諭吉や津田梅子のほかにも、新島襄の同志社、大隈重信の東京専門学校（のちの早稲田大学）などが次々と建てられ、また、外国人宣教師によってミッションスクールもたくさんつくられました。こうして、公立・私立ともに、新しい学校教育がさかんになっていきました。

とうかいだいがくりゅうがくせいきょういく へん にほん ちゅうきゅう
東海大学留学生教育センター編『日本語 中級 I』より

2) 章立てをする

ぶんしょう よ いか しょうだ
文章を読んだあと、以下のように「章立て」をし、レジュメの“もと”を作ります。

- ①内容によって、文章をいくつかに分ける。→ 章の“もと”になる
- ②分けた内容（章）に、それぞれタイトルをつける。
- ③各章の内容をさらに細かく箇条書きにしていく。

<例>

- | | | |
|-----------------------|-------|---|
| 1. はじめに | | 1 |
| 2. 明治時代に作られた学校 | | |
| 2-1. 政府によって作られた学校制度 | | |
| 2-2. 民間人が作った学校 | | |
| 1) 慶応義塾（現慶応義塾大学）の場合 | | |
| 2) 津田女子英学塾（現津田塾大学）の場合 | | |
| 3) その他の学校 | | |
| 3. まとめ | | |

<練習1> 2～7の段落は上の表のどこに入りますか。1のように書いてみましょう。

3) 章立てからレジюмеを作成する

①章立ての中に自分で調べた情報を加える（p13～16のレジюме例の下線部）。

②参考文献をつける。

③「はじめに」にテーマを選んだ理由、「まとめ」に全体のまとめ、自分の意見や感想などを書く。

④形式を整える。

A. テーマタイトル、章立てのタイトルのフォント、大きさなどを変える。

B. 番号のつけ方をそろえる 例 1. 2.、1) 2)、①②....

C. 授業名、発表日、学生番号、発表者名を書く

D. 全体的に見やすいか、適当なスペース（行間など）があるか確認する

3-3. わかりやすいレジュメとは？

- ① ^{ひとめ}一目でポイントがわかるようにする。
- ② ^も文字数^{じすう}を少なくし、必要に応じて表^{ひつよう}やグラフなどを効果的に使う。
- ③ ^{きじ}記事や本の文章^{ほん}をそのまま使わない（要約^{ようやく}する）。
- ④ ^{ぶん}文を書くときは普通体^{ふつうたい}を使う。
- ⑤ ^{はつびよう}発表の内容と一致させる（用語^{ようご}の一致・内容^{ないよう}の一致・順序^{じゆんじょ}の一致）。

<練習 2>

- ①～⑤に注意^{ちゆうい}しなければならないのはどうしてか。理由^{りゆう}を考^{かんが}えてみよう。
- ①～⑤以外^{いがい}にどんなことに注意^{ちゆうい}したらいいか考^{かんが}えてみよう。

<レジュメの例>

日本語 I

2013 年 4 月 28 日

0BLC0001 東海太郎

にほん がっこうせいど 日本の学校制度について

がっこうせいど —学校制度のはじまり—

1. はじめに

にほん きんだいきょういくせいど
日本の近代教育制度のもとになったといわれる明治時代の教育制度について調べた。

2. めいじじだい つく 明治時代に作られた学校

2-1. せいふ 政府によって作られた学校制度

1) めいじいぜん 明治以前の学校制度について

ぶし ばあい
武士の場合 はんこう しじゆく
藩校・私塾などで、しゆしがく よ
朱子学、読み書きなどを学ぶ

のうみん ばあい
農民の場合 てら こや みんかん
寺子屋（民間の初等教育機関）で読み書き算術を学ぶ

2) 政府が作った学校

①学校制度の歴史

明治5年(1872年) 学校制度を定める

明治40年ごろ 学齢期の子供の95%以上が小学校へ通う

②作られた学校の種類と特色

種類: 大学 8...北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学

大阪大学、京都大学、広島大学、九州大学

中学校 256 / 小学校 53,760

特色: だれでも教育が受けられる (男子の46%、女子の17%が就学)

3) 学校制度の問題点

・先生が足りなくて困った ⇒ 師範学校が作られた

2-2. 民間人が作った学校

1) 慶応義塾(現慶応義塾大学)の場合

①創業者: 福沢諭吉について

若い頃、アメリカへ行き、西洋の合理的な思想に触れる

慶応4年(1868年・明治元年) 慶応義塾 創立

②創立の理由

それまでの封建的な思想ではなく、西洋の思想を日本に広めるため

③慶応大学の特色: 自由な空気を重んじ、新しい時代にふさわしい人間を育てる教育

2) 津田女子英学塾(現津田塾大学)の場合

①創業者津田梅子について

梅子の父：農学者、すすんだ思想の持ち主

日本に文明をもたらすのは、教育のある女性

幼いうちに欧米に送って教育しなければならない

6才（明治4年） アメリカ留学 アメリカ人の家庭で生活する

ことば・風俗・習慣・ものの見方などを習得

17才（明治15年） 帰国 女学校で英語を教える

25才（明治22年） アメリカに留学 大学で生物学を学ぶ

36才（明治33年） 私立の津田女子英学塾 創立

②女子教育機関設立の理由

当時の日本の社会は、しとやかで従順（じゅうじゅん）な女性を求めている

日本の女性の社会的地位を向上させるため

③津田塾の特色

男性と協同して対等に力を発揮（はつき）できる女性を育成する

3) その他の学校

明治2年 立命館（西園寺公望）

明治8年 同志社（新島襄）

明治14年 明治法律学校→明治大学（岸本辰雄・宮城浩蔵・矢代操）

明治15年 東京専門学校→早稲田大学（大隈重信）

ミッションスクール（外人宣教師らが設立）

青山学院大学（明治7年）、明治学院大学（明治19年）

⇒公立・私立ともに、学校教育はさかんになっていった

3. まとめ

今日の日本の教育制度は、明治時代の学制が基礎になっている。大学を創立した人々の多くは自分の留学経験を生かして、当時の日本に新しい風を吹き込んだ。

参考文献

東海大学留学生教育センター編（1979）『日本語 中級 I』

三浦 昭、ワット・伊東泰子（2001）『日本を知ろう—日本の近代化に関わった人々』アルク

日本史広辞典編集委員会（2001）『山川日本史小辞典新版』山川 出版社

3-4. レジューメを作ってみよう！

<練習 1：対立する意見：捕鯨についての記事>

IWC（国際捕鯨委員会）での、捕鯨をめぐる賛成国と反対国の対立は根深い。反対国は「今でもクジラは絶滅の危機にある」と主張する。一方、賛成国は「ミンククジラなどは数が増えている」「クジラが大量に魚を食べており、クジラを保護することでわるい影響が出ている」と主張する。双方の意見は常に食い違っているのだ。

このような対立の背景には「異文化への相互理解が足りない」問題があると言われる。例えば、欧米などでは「クジラは知能が高い動物なので殺してはいけない」と考える人が多いが、日本などでは「クジラは食べるものである、守るべき食文化のひとつ」と考える人が多い。韓国などの国では犬を食べる習慣があるが、それも同じ理由で意見が分かれている。捕鯨問題を解決するためには、まず互いの文化を認め合う姿勢が必要かもしれない。

アルク「対立が続く国際捕鯨委員会」（2006）『J-Life』10月号より



日常生活の中で「どこで食べようか」という問いかけがよくなされるが、その答えはふつう「家庭で食べる」か、「外食する」ということになる。業界用語では、家庭の外で食べるのが「外食」であるからと、家庭内での食事を「内食」、おむすびや持ち帰りの弁当を買って、オフィスや公園、マイ・ホームに持ち寄って食べるのを「中食」と呼ぶそうである。（中略）

現代の日本人の食事は、内食とともに、外食や中食をぬきには語れなくなってきた。今日では世界各国にレストラン、食堂、料亭など、外食で食事をする装置が社会的に大量に存在している。しかしこうした装置ができたのは、そう古い話ではないだろう。

日本での外食が急増したのは、ここ数十年の間のことである。家庭の外に職をもち稼ぎを手にするようになった女性が、調理にかかる時間と自分の時間当たりの収入とを勘案して、外食産業の調理サービス代金はそれほど高いものではないと考えるようになったのが一つの大きな理由であろう。また、男性の労働が日曜、祭日は休みになるのであれば、女性の家事労働も日曜は休みにして、昼食か夕食のうちの一食ぐらいは献立を考えなくてもよい、調理をする必要もない、後片づけをしなくてもすむ外食にしようということもあったであろう。

生活水準の向上、価値観やライフ・スタイルの変化、女性の意識改革、食の外部化と食品産業や外食産業の発展、情報化社会の食行動など、外食の文化をめぐる背景には、現代の食の特質が如実に反映されていよう。

あさくら としお だい しょうだい せつ かわい としみつへん せいかつ ぶんからん けんぼくしゃ
朝倉敏夫（1995）「第2章第2節」河合利光編『生活文化論』建帛社



うえ ぶんしょう けいしき ととの か なお
上の文章を形式を整えて、レジュメに書き直してみよう。

要約発表例「日本の学校制度について」

章立て	発表の表現例
話しはじめのあいさつ	これから「日本の学校制度について」の発表をします。
1. はじめに	わたしは日本語の勉強を始める前から、日本の近代化がどうしてこんなに早く成功したか不思議に思っていました。その理由の1つに教育制度があるのではないかと思います、明治時代の学校制度についてしらべて、発表することにしました。
発表内容の大きな紹介	まず、レジュメをごらんください。 明治時代に作られた学校は大きく分けて、「2－1 政府が作った学校」と「2－2 民間人が作った学校」があります。それぞれについてみていきます。
2. 1) 明治以前の学校制度	では、明治時代の学校制度を考える前に、明治以前はどうであったかについてみてみましょう。レジュメの2－1の1)に明治以前の学校制度をまとめてみました。当時は武士とそれ以外の人で勉強する学校がちがっていたことがわかります。 武士の場合は、藩校です。藩校というのは（聞いている人がわからない特別な単語は発表の中でわかるように説明していきます）・・・つまり藩が作った学校で武士の子どもたちが行きました。また武士の子どもたちは塾などで、読み書きや朱子学を勉強しました。 武士以外の人、農民などの場合はどうだったかという、「寺子屋」という教育機関がありました。 寺子屋というのはどこにあったと思いますか（一方的に話すだけではなく、たまに質問をして、話の流れに変化をつける）～さん、どうですか？・・・そのとおりですね、村の場合はたいてい寺で教えていたのでその名前がつけました。町では寺で教えていたわけではないのですが、そこも寺子屋という名前で呼ばれています。寺子屋では読み書きとかんたんな計算、＋（足し算）や－（引き算）などをおしえました。
2) 政府が作った学校	つぎに明治時代の学校をみていきます。レジュメの2の1の2) 政府が作った学校のところを見てください（これから説明する内容がレジュメのどこにあるか、発表する前にその場所を確認しながら発表を進めていくのが、わかりやすい発表のポイントにな

	ります)。
①学校制度の 歴史	1871 年、学校が始まる前に、まず政府は文部省・・・現在の文部科学省にあたるところです・・・・をつくりました。それから 1872 年に学校制度を決めました。全国に小学校と中学校と大学を作ることになります。
	以下 省略
3. まとめ	まとめとして、2つのことを言いたいと思います。1つは、今の日本の学校制度は明治時代のものがもとになっていることがわかりました。もう1つは私立学校を作った人は自分の留学経験を生かして新しい風を吹き込んだということです。
おわりの あいさつ	これで、「日本の学校制度について」の発表をおわりにします。

4. プレゼンテーション (口頭発表)

今日の授業のポイント

1. 効果的なプレゼンテーションするための、作成手順を学ぶ。
2. 発表に用いる表現を学ぶ。

4-1. いいプレゼンテーションとは？

- ①わかりやすいプレゼンテーション
- ②心に残る (印象的な) プレゼンテーション

4-2. プレゼンテーションの構成

レポート作成だけでなく、レジュメやパワーポイント (PPT) などを用いたプレゼンテーションでも「序論」「本論」「結論」の3部構成を基本として作成する。

1) はじめに (序論) テーマについての全般的な説明

- ①背景説明：発表の前提となる現状、背景などを説明する。
- ②問題提起：問題点を指摘し、疑問点をあげる。
- ③方向づけ：発表全体を通して、何をどのように明らかにするかを示す。
- ④全体の予告：発表全体の予告をする。

2) 本論 事実の提示、データからわかることなど

- ①事実の提示：資料を使って「事実」を提示する。
- ②解釈：明らかにした内容をもとに、その原因やわかったことを述べる。

③ 発表者の意見：事実に基づいて意見を述べる。

3) **結論** 全体の結果の再確認、今後の課題

① 全体のまとめ：発表全体の流れ、この発表で一番言いたいことをもう一度くり返す。

② 今後の課題：より良い研究にするため、問題点を指摘し、今後必要なことを述べる。

4-3. プレゼンテーション作成の手順

以下の手順でプレゼンテーションの準備をしていく。

- 1) テーマを決める
- 2) 情報を収集する（書籍、インターネット、新聞、雑誌など）
- 3) アウトラインを組み立てる
- 4) PPTを作成する
- 5) 作成したPPT点検して形を整える
- 6) 配布資料（レジュメ）作成・・・（必要な場合）
- 7) スピーチの準備、練習をする ⇒ 発表

1) テーマを決める

< 注意点 >

① 自分がおもしろそうだと思うことをテーマにする

興味・関心、専門分野など、知っていることをもとに考えて、発表したいことを探す。

② テーマはどんどん変えてよい！

資料を集め始めて、うまく資料が集まらないときはテーマを変える。

資料を集めていて別のことのほうがおもしろそうなときは、そちらのテーマに変える。

3) アウトラインを組み立てる

<アウトラインの例>

アウトラインはおおざっぱなストーリー
から作り始めて、徐々に内容を細かくし
ていく



各章の内容をもう少し細かく箇条書きにしていく

序論

1. はじめに

2. ゴミの処理方法

本論

3. 3 Rとは

4. さらなる R

1. はじめに

(1) 興味を持った理由

(2) 発表の内容

2. ゴミの処理方法

(1) 燃焼の問題

(2) 解決

3. 3 Rとは

(1) リサイクル (再生利用 : Recycle)

(2) リユース (再使用 : Reuse)

(3) リデュース (発生抑制 : Reduce)

4. さらなる R

(1) リフューズ (拒否 : Refuse)

(2) リペア (修理 : Repair)

5. 自分なりの「R」

(1) リコンダ (考え直す : Reconsider)

(2) リコメンド (推薦する : Recommendation)

はっぴょう
発表テーマ (タイトル) _____

序論

1.

本論

結論



詳細なアウトライン

1. _____

(1)

4) PPTをつくる

<PPTを作る際の注意点>

①情報量に関する注意

- a. 1枚のスライド=1つのトピック
- b. 1ページの情報量が多すぎないか(1ページ15行以内で)
- c. 1つの項目=1行にいれる
- d. 説明は箇条書きにする・・・長い文章を書かない

②視覚的観点から見た注意点

- a. 見やすいかどうかを注意する

作成しているコンピュータ画面上での見やすさではなく、上映した際の見やすさを意識する。

- b. 背景と文字のコントラストがあるか 例) 背景：白 文字：黒 ○見やすい
背景：ピンク 文字：赤 ×見にくい

- c. 文字は小さすぎないか。18ポイント以上で書く
- d. アニメーションを使いすぎない
- e. 図やグラフを有効に使う(図やグラフには必ずタイトルをつける)

③その他

時間に合わせたスライド数で作る

スライド数÷発表時間(分) 例) 15分の発表⇒15～20枚のスライド

5) 作ったPPTを点検して体裁を整える

- ①表紙をつける(タイトル、所属、名前)
- ②すべてのスライドにページ数をつける

③テーマタイトル、章立てのタイトルのフォント、大きさなどを変える。

④全体的に見やすいか、文字は適当なスペース（行間など）があるか確認する

6) 配布資料（レジュメ）作成・・・（必要な場合）

①聞くよりも見たほうが理解しやすい情報（地図、写真、グラフ、チャート図など）

②こまかい数値がなっている情報

⇒聞き手が理解しやすいようにするための補助的資料

⇒できるだけ簡単にわかりやすくまとめる

環境保護のためにできること —3Rから考える—

文明アジア学科
山木ゆり

1

1. はじめに

- このテーマを選んだ理由
ゴミ問題はどうなっているのか？
- 発表内容
 - (1)ゴミの処理方法
 - (2)「3R」とは
 - (3)さらなる「R」
 - (4)自分なりの「R」

2

2. ゴミの処理方法

(1)燃焼の問題



空気や土壌の汚染

(2)解決方法



リサイクルだけでない ⇨ 3R

3

3. 3Rとは

- (1)リサイクル…(再生利用 : Recycle)
- (2)リユース…(再使用 : Reuse)
- (3)リデュース…(発生抑制 : Reduce)

4

(1) リサイクル

⇒使用済みの製品を回収し、
それを原材料として再利用すること

①マテリアル・リサイクル…素材のリサイクル

例) アルミ缶→アルミ製品
ペットボトル→フリース繊維

②サーマル・リサイクル

…熱としてのエネルギーに変える

例) 使用済みフリース繊維→燃料にする

5

(2) リユース

⇒同じ物を何回も繰り返して
使用すること

使用済みになっても、中でもう一度
使えるものはゴミとして廃棄しないで
再使用すること

6

(3) リデュース

⇒ゴミを減らすこと

使用済みになったものが、なるべくゴミ
して廃棄されることが少なくなるように、
ものを製造・加工・販売すること

7

4. さらなる「R」

- (1)リフューズ…(拒否 : Refuse)
⇒環境に悪いものを拒否すること
- (2)リペア…(修理 : Repair)
⇒直して使うこと

8

5. 自分なりの「R」

(1) Reconsider: 考え直す

⇒自分にとって本当に必要なものかを
よく考える (例: 買い物のとき)

(2) Recommendation: 推薦する

⇒やって良かった環境保護活動を
友達や家族に広げる

9

6. まとめ

- (1)ゴミの処理方法⇨燃焼と3R
- (2)「3R」
 - ⇨リサイクル、リユース、リデュース
- (3)さらなる「R」
 - ⇨リフューズ、リペア
- (4)自分なりの「R」
 - ⇨リコンシダ、リコメンド

10

4-4. プレゼンテーションの^{ちゅういてん}注意点

1) プレゼンテーションをするときに^{ぜったい}絶対にしてはいけないこと

①^{げんこう}原稿/^{しりょう}資料の^{ほんぶん}本文をそのまま^よ読む

②^{しりょう}資料の^{ほんぶん}本文を切り^き貼りして^よ読む

2) プレゼンテーションをするときに^{ちゅうい}注意すること

①^き聞いて^{ことば}わかりにくい^{ことば}言葉はなるべく^{つか}使わない

^{かんご ひょうげん}漢語^き表現や聞きなれない^{せんもんようご}専門用語など、^{みみ}耳で^き聞いて^{ことば}わかりにくいことばや^{じぶん}自分の^し知らなかったことばは、^き聞き^て手も^{かのうせい}わかりにくい可能性があるので、なるべく^{すく}少なくする。または、^{かんたん}簡単なことばに^い言い^か換える。

②^{ことば}わかりにくい言葉は^{せつめい}説明して^{つか}使う

どうしても^{つか}使いたい^{はっぴょう}キーワードなどは、^{なか}発表の中で^{せつめい}説明したり、^{れい}例をあげたりして、^き聞いている^{ひと}人に^{くふう}わかってもらえるように工夫する。

4-5. プレゼンテーションのための^{ひょうげん}表現

1) ^{はな}話し^{はじめ}始め

①これから～について^{はっぴょう}発表^{おも}したいと思います。

2) ^{せいり}整理して^{はな}話す/^{ないよう}内容を^{せつめい}説明する/^{つぎ}次に^{うつ}移る

①まず/^{つぎ}次に/^{さいご}それから/^{さいご}最後に、～について^{せつめい}説明します。

②1^{ばんめ}番目は～、2^{ばんめ}番目は～、3^{ばんめ}番目は～、

③では、^{ぐたいてき}具体的な^{せつめい}説明に^{うつ}移ります。

④～は^{おお}大きくX^わつに分けることができます。1つは・・・、2^めつ目/もう1つは

3) ^{しじ}指示する

①^{てもと}お手元の^{レジュメ}レジメを^{ごらん}ご覧ください。

②^ず図1を^{ごらん}ご覧ください。

4) 注釈 表現：これを使うと聞いている人にわかりやすい

① (難しい言葉の場合) ○○とは、～ということです。

②簡単に言いますと、～

③これはよくあることです、～

④みなさんもお存知のように、～

⑤ここまでをまとめると、～

⑥たいへん複雑でわかりにくいのですが、～

⑦さっき少し説明しましたが、～

5) 重要な部分を示す

①筆者が述べていることは次の＊点です。

②この本の中で中心になるのは次の～です。

③筆者が強調していることは～です。

④筆者は～と言及しています。

6) 考察・意見・主張を述べる

①最後に、以上の調査結果から[考えられること／考察できること]について話します。

②以上のような結果から、次のようなことが言えると思います。

③～です。／～と思います。／考えます。

7) 終わり

①これで～についての発表を終わります。

②以上で私の発表を終わります。

8) 質問や意見を受ける

①何かご質問はありませんか。

②何かご意見やご質問がありましたら、どうぞ。

4-6. 質疑応答のための表現

プレゼンテーションが終わったあとで、質疑応答（発表が終わったあとで、聞いている人が質問し、発表者がそれに答えること）の時間がある。そのとき使う表現と作法を覚えよう。

1) 質問をする表現（聴衆側：聞いている人）

<前置き：質問する前に必ず言うこと>

①知らない人の集まりの場合、ここで自分の所属と名前などと言う。

ゼミの発表など、互いに知っている人の集まりでの発表では省略する。

①お礼、感想を言う

発表、ありがとうございました。

とてもおもしろい発表だったと思います。

②質問がいくつあるか言ってから質問する。

2つ質問があります。一つは～。もう一つは～。

③発表者が言った内容を繰り返して確認したいときの、切り出し方

さきほど、～とおっしゃいましたが、

<質問する>

①わからなかったことを質問する

a. ～についてもう一度説明して／教えて いただけませんか。

b. ○○は、具体的に言うと、どういうことでしょうか。

c. ○○の場合はどうなりますか。

d. ～というのはたとえば？

e. ～とおっしゃったのは、どうして～？

②確認をする

a. ～とおっしゃいましたか。

- b. ～と言いましたか。
- c. ～と聞こえたんですが、正しいでしょうか。
- d. ○○とは、△△ということでしょうか。

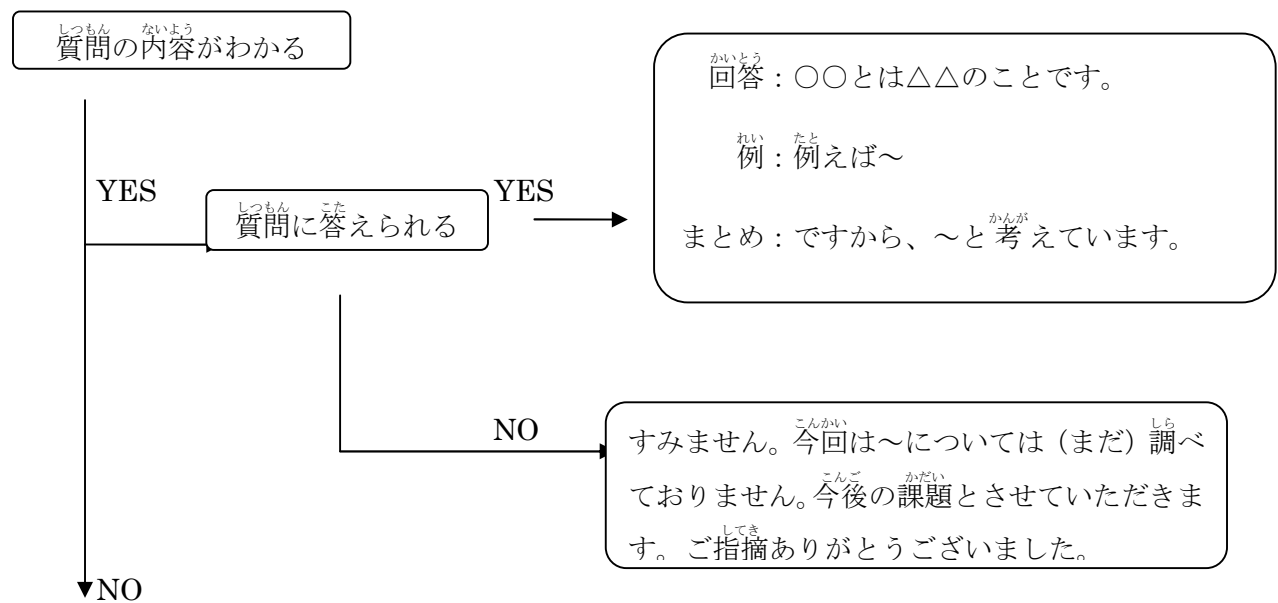
<お願いする>

- a. よろしくお願ひします。

<（発表者の回答を聞いた後で）もう一度最後にお礼を言う>

- a. ありがとうございます。
- b. ありがとうございます。とても参考になりました。

2) 質問を受ける表現（発表者側）



- ・すみません、～の質問ですが、○○ということでしょうか。
- ・すみません、もう一度ゆっくりお願ひします。

＜プレゼンテーション「環境保護のためにできること—3 R から考える—」の発表スタイル例＞

しょうだ 章立て	
はな はじ 話し始め	これから「環境保護のためにできること、3 R から考える」について発表します。
1. はじめに	まず私がこのテーマを選んだ理由について説明します。 その理由は、地球温暖化の問題から、私たちに何かできることはないか考えたからです。身近な問題としては、ゴミ問題が挙げられます。ゴミの増加にともなう、いろいろな問題が起こっています。ゴミを少なくするにはどうしたらいいか探ってみました。
はっぴよう 発表	発表の内容は、大きく4つに分けられます。
ないよう 内容	まず、「ゴミ処理の方法」について説明します。 次に「3 R」について述べたあと、「さらなる R」についてお話します。 そして最後に自分で考えた「R」についてお話します。 では、具体的な説明に移ります。
2. ゴミの処理 ほうほう 方法	まず、「ゴミ処理方法」について説明します。 ゴミの増加にともなう、燃焼の問題が起こってきました。それは、焼却による空気や埋め立てによる土壌の汚染です。空気の汚染というのは、燃やすことによって有毒なガスが発生することです。つまり、資料の中で述べられていましたが、見えないようにしていたものが、私たちの健康をおびやかすようになったということになります。 では、どうしたらこの問題が解決できるでしょうか。最近、「リサイクル」という言葉がよく聞かれますが、どうやら、「リサイクル」だけがゴミ問題を解決する方法ではなさそうです。みなさんは、「3 R」という言葉を聞いたことがありますか。
3. アール 3 R とは	それでは、「3 R」についてお話します。 3 R というのは R から始まる、英語の3つの言葉のことです。 1つは、「リサイクル」、再生利用です。 2つ目「リユース」、再使用です。

	3つ目は「リデュース」、発生抑制です。 次に、この「3 R」についてさらに詳しく説明したいと思います。
(1) リサイクル	みなさんもお存知のように、「リサイクル」とは、使用済みの製品を回収して、それを原材料として再利用することです。 リサイクルには、いろいろな種類のリサイクル方法があります。その代表的なものを2つ紹介します。 一つは、「マテリアル・リサイクル」です。マテリアルというのは「素材」のことです。アルミ缶からアルミ製品を作ったり、ペットボトルからフリース繊維を作ったりします。つまり、アルミ缶やペットボトルの素材を生かして、別のほかのものを作ることです。 もう1つは、「サーマル・リサイクル」です。「熱回収」とも言います。熱としてエネルギーを回収するものです。例えば、使用済みのフリース繊維を燃料として利用して、熱エネルギーに変えるというものです。
(2) リユース	次に、2つめのR、「リユース」ですが、これは同じものを何回も繰り返して使用することです。例えば、ビールの空きビンは、回収してきれいに洗った後、新しいビールを入れてまた出荷します。ビンのまま何度も使ったほうが、使用するエネルギーも少なくて済みます。
(3) リデュース	最後に3つめのR、「リデュース」とは、ゴミを減らすことです。使用済みになったものが、ゴミにならないように製造したり加工したりすることです。
4.	ゴミ問題の解決方法には、この「3 R」がよく取り上げられますが、実は、第4、第5のRもあります。それが「リフューズ」と「リペア」です。

さらなる アール R	「リフューズ」とは、かんきょう 環境に悪いものを拒否することです。かんたん 簡単に言うと、「ことわ 断る」ということです。か 買い物をするとき、ほうそう 包装の多いものやすぐゴミになるようなものを買わないようにすることです。みなさんは、スーパーへ行く時、か 買い物袋を家から持っていますか。さいきん 最近はいろいろなスーパーで、ぶくろ レジ袋の有料化が進んでいます。お店の人が袋に入れようとしたとき、「袋は要りません」と言えば、「リフューズ」を実行していることになります。 だい 第5の アール R、「リペア」とは、しゅうり 修理すること、なお 直して使うことです。こわ 壊れたらすぐ捨てるのではなく、できるだけしゅうり 修理して使うということです。 だい 第4、第5の アール Rは、3つめの アール R「リデュース」の中にも含まれるとも考えられます。きよひ それは、拒否したり、しゅうり 修理したりすることで、ゴミが減るからです。
5. じぶん 自分なりの アール R	さいご 最後に、自分なりの アール Rを2つ考えてみたので、しょうかい 紹介します。 1つは「リコンシダー」かんが 考え直す、です。自分にとってそれが本当に必要なものかをよく考えて買ったりすることです。 もう1つは、「リコメンド」すいせん 推薦する、です。自分がやってみて良かった環境保護活動を友達や家族に広げることです。
6. まとめ	きょう 今日「かんきょう 環境保護のためにできること」を3 アール Rから考えながらお話ししました。さいご 最後にもう一度、今日の発表内容をふりかえりたいと思います。 まず「しやり ゴミ処理方法」について説明しました。 つぎ 次に「3 アール R」のリサイクル、リユース、リデュースについて述べたあと、3番目「さらなる アール R」について説明しました。そして最後に「自分なりの アール R」についてお話ししました。 みなさんは、かんきょう 環境保護について、何かやっていることはありますか。今日お話しした3 アール Rだけでなく、自分なりの アール Rをぜひ探してみてください。ちきゅう 地球温暖化の問題は、映画や遠い国の話ではなくなっています。できることから少しずつ取り組んでいくことが大切だと思います。
	これで、「かんきょう 環境保護のためにできること、3 アール Rから考える」についての発表を終わります。

	なにか いけん しつもん 何かご意見やご質問がありましたら、どうぞ。
--	---

しつぎ おうとう れい <質疑応答の例>

ちょうしゅうがわ 聴衆側	まえお 前置き	はっぴよう 発表、ありがとうございました。とてもおもしろ はっぴよう 面白い発表でした。
	しつもん 質問する	2つ質問があります。 1つは、「フリース」とはなにですか。「リサイクル」の説明のとき、「フリース」ということばがありましたが、「フリース」について説明していただけないか。それから、もう1つは、リサイクルの方法は「マテリアル」と「サーマル」のほかにどんなものがあるか、おしえていただけないでしょうか。
	ねが お願いする	よろしくねが お願いします。
はっぴようしゃ 発表者	しつもん こた 質問に答えられる	はい。まず、1つ目の質問についてですが、「フリース」というのは、素材の1つの名前です。ポリエステルを用いて作ります。暖かく軽くて安い素材です。
	しつもん こた 質問に答えられない	それから、2つ目の御質問、リサイクルの他の方法ですが、今回は調べておりません。今後の課題とさせていただきます。ご指摘ありがとうございました。
ちょうしゅうがわ 聴衆側	れい い お礼を言う	ありがとうございました。

さんこう ぶんけん 参考文献

けいざい さんぎょうしやう
経済 産業省 ホームページ <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/index.html>

かとう さぶろう
加藤三郎 (2001) 『かしこいリサイクルQ&A』岩波書店

こやなぎのぼる
小柳昇 (2002) 『ニューアプローチ 中 上級 日本語[完成編]』AGPアジア語文出版

4-7. プレゼンテーションの^{ひょうか}評価

今日の授業のポイント

1. プレゼンテーションの^{まえ}前に^{じぶん}自分でチェックする。
2. プレゼンテーションをするときに何に^き気をつけるかを知る。

1) ^{はっぴょう}発表の^{まえ}前に

チェックポイント		私	先生
じゅんび 準備	① ^{ひつよう} 必要な ^{しりよう} 資料はあるか		
	② ^{れんしゅう} 練習をたくさんしたか		
	③ ^{じかん} 時間をはかって ^{れんしゅう} 練習したか		
レジュメ・ppt	④ ^{ひつよう} 必要な ^{じょうほう} 情報はるか (学生証番号・名前・発表日・授業名・タイトル)		
	⑤ ^{さんこうぶんけん} 参考文献は書いたか (^{ちよしや} 著者・ ^{しゅつばんねん} 出版年・タイトル・ ^{しゅつばんしゃ} 出版社・ページ)		

2) プレゼンテーションの^{ひょうか}評価

^{ひょうか} 評価するポイント			^{ひょうか} 評価
レジュメ・ppt	けいしき 形式	⑥ ^じ 字の ^{おお} 大きさ	
		⑦ ^み 見やすさ	
はっぴょう 発表	ひょうげん 表現	⑧「です・ます」で ^{はな} 話す	
		⑨ ^{はじ} 始まりと ^お 終わりのあいさつをする	
		⑩レジュメ・pptの ^{じゅんばん} 順番で ^{せつめい} 説明する	
		⑪ ^{こえ} 声の ^{おお} 大きさ	
		⑫ ^{げんこう} 原稿を ^よ 読まずにできたか	
	聞き手に対し て	⑬どこを ^{せつめい} 説明しているか ^{かくにん} 確認する	
		⑭聞き手とアイコンタクトできる	
	しつぎおうとう 質疑応答	⑮ ^{しつもん} 質問に対する ^{たい} 答え ^{こた} え方が ^{かた} できる	

<コメント>

5. 討論（ディスカッション）

今日の授業のポイント

1. 基本的な討論の方法を知る。
2. 討論で使用する表現を学び、実際に使ってみる。

5-1. 討論とは？

討論	プレゼンテーション
(グループ・一人)で行う	通常 (グループ・一人)で行う
(一・双)方向	(一・双)方向
問題を共有して解決する	発表者の意見を伝える

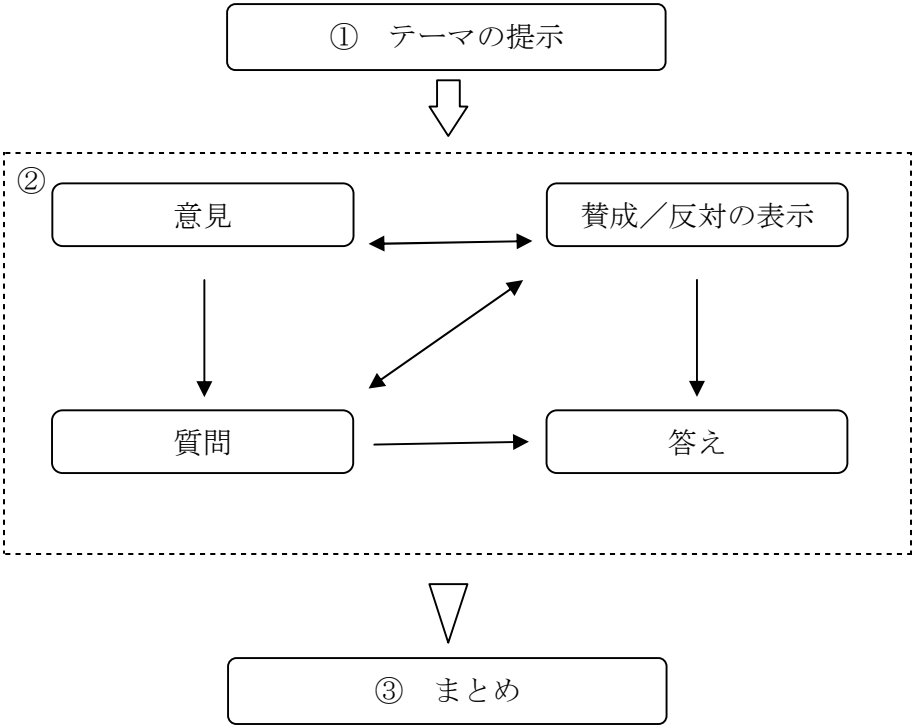
今までに、どんな場面で討論をしたことがあるか？

- ①問題共有型討論：問題に対して意見を出し合い、共通理解を深める
- ②問題解決型討論：問題に対する有効な解決策を見出して、合意を形成する

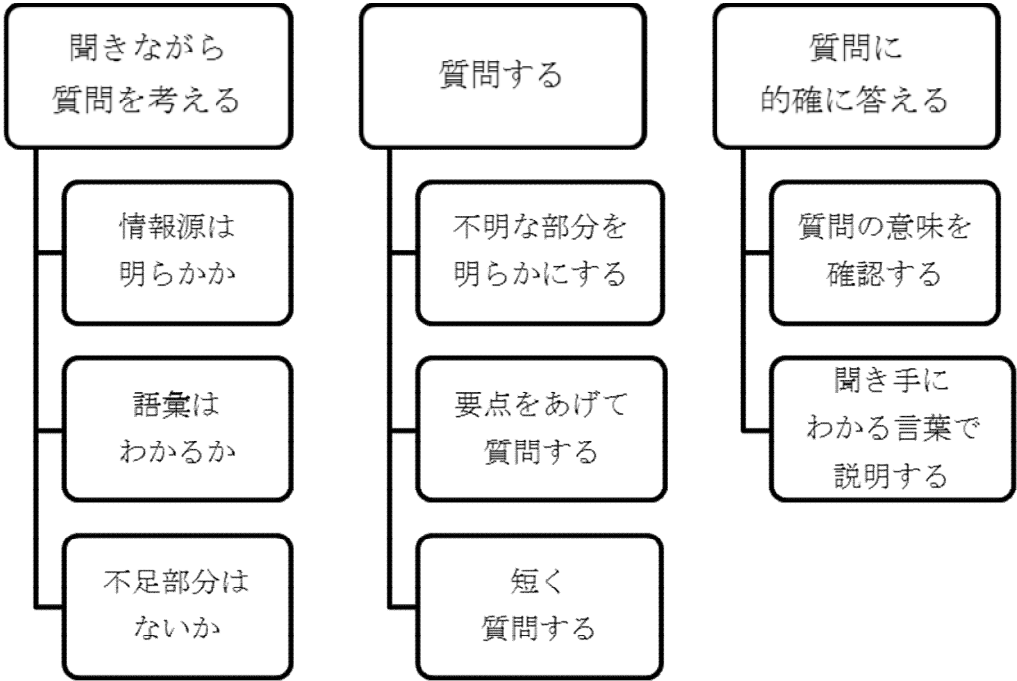
5-2. 討論練習の目的

- 1) 相手の話を正確に聞き取る力を養う。
- 2) 事実関係について不明な点、理解できなかった点を質問できるようになる。
- 3) 相手の意見に対し、自分の考えとの相違点や一致点、またその理由が述べられるようになる。
- 4) 質問に対し、相手が納得できるまで説明できるようになる。

5-3. 討論の流れ



5-4. 質問の時の注意点



※質問の時は自分の意見を述べてはいけない！

5-5. ミニ^{とうろん}討論^{ほうほう}の方法

1) やり方^{かた}：4～5人^{ひと}の小^{しょう}グループによる比較^{ひかく}的^{てき}短時間^{じかん}の話^{はな}し合^あい。

共通^{きょうつう}の問題^{もんだい}や課題^{かだい}について、各自^{かくじ}が自由^{じゆう}に意見^{いけん}を出^だし合^あう。

2) 人数^{にんずう}：1グループ4～5人^{ひと}

3) 時間^{じかん}：5～10分

4) 座り方^{すわかた}：司会者^{しかいしや}、参加者^{さんかしや}がお互^{たが}いの顔^{かお}が見^みられるようにする。

5) 進め方^{すすかた}：

①役割^{やくわり}を決^きめる。

司会^{しかい}（1名）：進行役^{しんこうやく}。何^{なに}を言^いいたいのかを常^{つね}に確認^{かくにん}する。異^{こと}なる意見^{いけん}を対立^{たいりつ}させる。

発言^{はつげん}を促^{うなが}す。発言^{はつげん}をまとめる。

記録係^{きろくがかり}（1名）：必要^{ひつよう}なときにメモをとる。最後^{さいご}に報告^{ほうこく}をする。意見^{いけん}を言^いう。

参加者^{さんかしや}：積極^{せつきよく}的に発言^{はつげん}する。相手^{あいて}の意見^{いけん}をよく聞^きく。

②討論^{とうろん}を始^{はじ}める。各自^{かくじ}が自由^{じゆう}に意見^{いけん}を言^いう。

また、他人^{たにん}の意見^{いけん}に対^{たい}して反論^{はんろん}やコメントをする。

③時間^{じかん}がきたら（5分）、司会者^{しかいしや}が議論^{ぎろん}を終わ^{おわ}らせる。

④発表者^{はつぴようしや}（代表^{だいひよう}）が議論^{ぎろん}の内容^{ないよう}をまとめて発表^{はつぴよう}する。

5-6. 討論のための表現

<司会者>

1) 始め

- a. (それでは) これから、討論を始めます。
- b. 今日は、・・・について話し合いたいと思います。

2) 発言を促す

- a. それでは、まず／次に △△さん、お願いします。
- b. □□さん、この点についてどう 考えですか。／思いますか。

3) 話を本題にもどす

- a. 話が本題からずれてきたようなので、もとにもどします。

4) 参加者の発言を確認する

- a. つまり、・・・ということですか。
- b. △△さんの意見は、・・・ということですか。／ね。
- c. □□さんのおっしゃったことは、・・・ということですか。／ね。

5) 発言を対比する

- a. △さんと□さんの意見は、・・・という点で 同じですね。／違いますね。

6) 終わり

- a. 意見をまとめたいと思います。
- b. 皆さん、ご協力ありがとうございました。

<参加者>

1) 意見を述べる

- a. ～と思います。

b. ～と^{かんが} 考えます。

c. 私^{わたし}の意見^{いけん}では、・・・

d. 私^{わたし}の考え^{かんが}では、・・・

2) 話題^{わだい}に割り込む^わ

a. すみません。^{いま}今、・・・とおっしゃいましたが、・・・

3) 人^{ひと}の意見^{いけん}に同意^{どうい}する

a. 私^{わたし}も 同感^{どうかん}／賛成^{さんせい} です。

b. その通り^{とお}です。

c. その点^{てん}に関しては、私^{わたし}も同じ意見^{おな いけん}です。

4) 反論^{はんろん}する

a. 私^{わたし}はそれには賛成^{さんせい}できません。

b. それは無理^{むり}ではありませんか。

5) 全体^{ぜんたい}は認^{みと}めてから、(一部^{いちぶ}について) 反論^{はんろん}する

a. ～は理解^{りかい}できますが、・・・

b. たしかに～ですが、しかし、・・・

6) 説明^{せつめい}を要求^{ようきゅう}する

a. どうしてか説明^{せつめい}していただけませんか。

7) 付け加^{くわ}える

a. それから、付け加^{くわ}えたいのですが、・・・

b. 今^{いま}の発言^{はつげん}に関係^{かんけい}があるのですが、・・・

c. おっしゃったことの繰^くり返^{かえ}しになりますが、・・・

8) 発言^{はつげん}の許可^{きょか}を求^{もと}める

a. 質問^{しつもん}が あります／あるんですが。

b. ～について伺^{うかが}いたいのですが。

c. 発言^{はつげん}してもよろしいですか。

d. お話^{はなし}の途中^{とちゅう}ですみませんが、・・・

9) 相手の発言^{はつげん}を確認^{かくにん}する

a. つまり、○さんのおっしゃるのは、・・・・・・ということですね。

b. △さんのご意見^{いけん}はこういうことですね。・・・・・・

5-7. 討論の例

テーマ：「コンビニを24時間営業にするべきか否か」 司会1名、参加者4名（A～D）

① 司会者	はじめ 発言を促す	これから、討論を始めます。今日は、「コンビニを24時間営業にするべきか否か。」について話したいと思います。 それでは、まずAさん、お願いします。
② 参加者 A	賛成意見を述べる	私は、24時間営業のコンビニに賛成です。それは、24時間開いていたほうが便利だからです。必要な時とか急に何か必要になった時にすぐコンビニに行くことができます。
③ 司会者	確認する 発言を促す	なるほど。Aさんの意見は、24時間営業に賛成ということですね。これについて、Bさんはどう思いますか。
④ 参加者 B	賛成意見を述べる	私も、Aさんの意見に賛成です。昼間スーパーやデパートに買い物へ行けない人は深夜にコンビニが開いているととても便利だし、それに、深夜働いている人もちょっと店に行きたいと思った時、気軽に行くことができます。だから、24時間営業に賛成です。
⑤ 司会者	まとめる 発言を促す	そうですか。AさんもBさんも便利だから賛成ということでしたが、Cさんはどうお考えですか。
⑥ 参加者 C	賛成意見を認めてから反対意見を述べる	確かに、24時間営業は便利だし、僕も、夜遅くにコンビニに行くことだってあります。でも、僕は、24時間営業には反対です。深夜は犯罪率が上がるし、それに、今は、節約だエコだと叫ばれている時代に、24時間も電気エネルギーを使い続けるのはもったいないです。
⑦ 参加者 A	賛成意見を述べる	犯罪率が上がることですが、その点は違うと思います。深夜の店員は男性なので、そんなに危険じゃないと思います。それに、コンビニの明かりで周りが明るくなり、かえって犯罪が起こりにくいと思います。

⑧ 参加者 ビー B	賛成意見を述べる	私の友だちは深夜にコンビニで働いていますが、危険な目にあったことは一度もないと言っています。それに、私もよく深夜にコンビニに行くけれど、夜だからと言ってマナーが悪い人が多いわけじゃないし、人が少ないからゆっくり立ち読みとかもできるし。私は深夜のコンビニが好きです。
⑨ 司会者	本題にもどす	少し話が本題からずれてきたようなので、もとにもどします。 犯罪率についていかがですか。
⑩ 参加者 D	反対意見を述べる	でも、実際に犯罪率は昼よりも深夜のほうが高いです。深夜にコンビニが閉まっていれば、犯罪を起こしそうな人もコンビニに行かず、まっすぐ家に帰るしかありません。犯罪が起きる可能性を減らすことができるとおもいます。
⑪ 司会者	これまでの流れをまとめる 発言を促す	えー、では、ひとまず、ここまでのみなさんの意見をちょっとまとめてみたいと思います。コンビニの24時間営業に賛成の人は、便利だから、行きたいときにすぐ行けるから、深夜働いている人にとっても助かる、また、コンビニの明かりが犯罪率を低下させることもできるという意見でした。一方、反対の人は、犯罪率は昼より深夜の方が高い、コンビニは犯罪を引き起こすきっかけになっている、 24時間電気を消費するのはもったいないという意見でした。 では、これ以外で、賛成意見、反対意見はありますか。（略）

5－8. テーマを決めて討論をしてみよう

例を参考にして、クラス（グループ）でどんなテーマについて討論するか決めて、討論をしてみよう。

テーマ：

①「〇〇についてどう思いますか。」

例 ・ 出生率の低下（少子化）についてどう思うか。

- ・携帯電話についてどんな意見があるか。よくないところ、便利なところ。
- ・外国で生活するとき、どんな考え方が大切か。
- ・個人として国際的に貢献できることはあるか。それは何か。
- ・地球にやさしい暮らしとはどんな暮らしか。何ができるか。
- ・自由な経済発展のもとでは貧富の格差が出る。それについてどう思うか。
- ・消費者のニーズが多様化し、爆発的に売れる物が少なくなった。もしあなたが経営者だったら、どんなものを商品にするか。
- ・日本を観光地としてより魅力的な場所にするには、どのような工夫が必要か。
- ・東海大学に学生を集めるにはどんな工夫が必要か。
- ・「仕事」はお金以外にどんなもの（こと）を人間に与えてくれると思うか。
- ・「フリーター」についてどう思うか。
- ・現代社会の中で、親が家庭のしつけとして、子どもに対してしなければならないことはどのようなことだと思うか。
- ・あなたが考える豊かな老後とは？

②「AとBとどちらの意見に賛成ですか。」

- 例
- ・便利な都会の生活と緑の多い自然の中での生活とどちらを選ぶか。
 - ・就職するなら、大企業？中 小企業？／日本で？国で？
 - ・「結婚」という制度は社会にとって必要だと思うか。もしこの制度がなかったら人間の生き方はどのように変わらと思うか。
 - ・外国語教育はできるだけ早く始めるべきだという意見と、母語を十分習得してからでいいという意見がある。どちらに賛成か。
 - ・コンビニを24時間営業にするべきか否か。

5-9. 討論の記録

討論のテーマ： _____

討論で出てきた質問や意見

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

まとめ：グループ内でどんな意見がでたか、簡単にまとめよう。